

No. 28 2026年6月7日

三位一体後第一主日礼拝
 説教『大胆に語る』
 吉丸初美 師
 司式 山根眞三 さん
 奏楽 自動演奏機
 招詞 ルカ福音書 16章31節
 主の祈 (564)
 讃詠 5 4 6
 交読詩編 詩 7 6 編
 祈禱
 讃美歌 2 1- 5 8
 使徒信条 (566)
 聖書 使徒行伝 4章13~31節
 説教 『大胆に語る』
 祈禱
 讃美歌 2 1- 3 9 0
 聖餐式 (21-81)
 献金
 感謝報告
 頌祝 5 4 0
 後奏

次週の礼拝(三位一体後第二/会堂再建主日礼拝)
 説教『まことの安らぎを求めて』
 マタイ福音書 11章 25~30 節
 招詞 エペソ人への手紙 2章14~17節、交読詩篇36
 讃美歌 546、21-332、21-432、541

礼拝当番
 今週 7日 司式 山根眞三 さん
 次週 14日 司会 吉丸初美 さん
 会堂清掃奉仕 7月5日(日)
 コーヒータイム後に行います。

本日の集会

★教会学校 午前9時45分
 ★出会いのひととき 礼拝後～
 様々な思いを共有し、話し合いの時を持ちましょう。
 ★6月定例会教会役員会 コーヒータイム後行います
 教務・教勢報告、会計報告を話し合います。
 教会役員の仕事と健康をお祈りください。

今週の集会/スケジュール

§広島キリスト教信徒会理事会 6月11日(木)10時～
 於:広島復活教会
 ※めぐみ幼稚園花の日礼拝 6月12日(金)10時30分～
 こどもの日・花の日礼拝では園児たちが家庭から
 花を持ち寄り、神様に感謝を捧げます。礼拝の後
 日頃からお世話になっている地域の方々の所に
 花束を持っていきます。

次週以降のスケジュール等

§西地区保護司会第五分会作業 6月15日(月)18時～
 ※めぐみ幼稚園創立記念日(休日) 6月16日(火)
 ★聖書を読む会 6月16日(火) 10時30分～12時
 創世記18章を読みます。乞う!ご参加。
 ★広島西分区牧師会 6月16日(火)15時～17時
 於:広島流川教会
 §広島拘置所教誨奉仕 6月17日(水)13時30分～16時
 施設にある方の信仰を覚えてお祈りください。
 ※めぐみ幼稚園日礼拝 6月19日(金)10時30分～
 子どもたちの成長と保育者の働きを覚えてお祈りください。
 ●レコードコンサート 6月21日(日)13時～15時30分
 シューベルト 弦楽四重奏曲第13番 イ短調<ロザムンデ>
 ピアノ五重奏曲 イ短調<ます> D 667
 交響曲 第8番 ロ短調 <未完成> D 759
 §広島キリスト教信徒会総会 6月28日(日)15時～
 於:広島復活教会

先週の集会	男	女	計
教会学校	0	2	2
主日礼拝	4	4	8

◇今週の説教要旨(三位一体後第一主日礼拝)
 『大胆に語る』使徒行伝 4章13～31節
 十字架で殺され、復活した主イエスに出会った一握りの弟子たちが聖霊の力を受け、主イエスこそメシア救い主であると人々に宣べ伝え始めた。これが教会の誕生であり伝道の初まりだった。使徒たちの力強い働きによってなされた最初の教会の伝道には、豊かな聖霊の恵みと働きがある。教会活動の最前線とは何か。教会の命とは何なのか。神の愛を体験した者はキリストの「良き知らせ(福音)」を自主的に証する。神はすべての人に愛と恵みを与えられる。主イエスを三度否認し逃げたペテロにも同じように聖霊が注がれ、そこから彼は主イエスについて話らなければならなかった。「自分の見たこと、聞いたこと」を語らないわけにはいかなかったのだ。神の言葉を大胆に語るために注がれた「聖霊の力」である。復活の主に出会い、聖霊に満たされた者は沈黙していることができない。私たちは聖霊の満たしを求めているだろうか。私たちの心は神の愛で熱くなっているだろうか。しるしと言葉によって伝道をはじめた教会の歩みは最初は妨害もなく順調だった。しかし、信者の数が増えるにつれユダヤ教指導者たちからの脅迫がはじまった。主イエスを信じることは犯罪なのか。なぜそうなのか。そして彼らの伝道を威嚇し阻止しようとした。しかし教会の信者たちも使徒たちも同じく心を合わせ祈り求めた。それは「困難や迫害を緩めてください」ではなく、「思い切って大胆に御言葉を語らせてください」という力強く勇気と力を求め困難を乗り越えるための祈りだった。彼らが求めたのは「聖霊の力」そして目指したのは「聖霊の満たしと、大胆に語ること」だった。彼らをそこまで動かしたのは何か。それは、愛・力強く公正な神の愛だった。すべてのものを分け合い、心を合わせ祈り、共に食事をして支え合う姿には、神の豊かな恵みと愛、主イエスの憐れみと隣人愛を見る。神の恵みに信頼し、自らが聖霊によって変えられ、立ち上がることを彼らは選んだ。神の恵みはすべての人に等しく注がれている。あとは私たちがその恵みを受け入れ、一步を踏み出すかどうかなのだ。